

巻頭言

国際印刷大学校研究報告第20巻の刊行

木下堯博

The Publication for Vol 20 of IGU Research Report

Akihiro KINOSHITA

2000年5月18日から5月31日までデュッセルドルフ市で開催の drupa2000 に参加し、更に、マインツ市での協賛行事の Gutenberg 600(1400~2000)にも出席した。drupa2000 では国際印刷大学校の設立に関し、ヨーロッパの印刷メディア系大学との学术交流の基礎が確立された。

drupa95(1995)からの課題であった「世界の印刷文化遺産」をシカゴの Print97(1997)で中間報告を行ったが、drupa2000 参加後、ライプツヒ印刷博物館で発表した。質疑応答での各問題点は drupa2004 に引き継がれた。更に、1995年の drupa95 から2015年までの20年間、世界の印刷博物館(約50館)の調査を行い、2015年9月3日の本木昌造140回忌で報告した。(研究報告第16巻参照)

drupa2000 から帰国後、2000年6月16日、東京・神田で国際印刷大学校の設立総会を開催した。日本で初めての印刷メディアをインターネットで教育・研究するバーチャル大学が設立された。理事長には富士精版印刷(株)の石川忠会長、学長には九州産業大学名誉教授の木下堯博が選出され、2学部6学科の構成で1学科2名の客員教授計12名が就任した。客員教授は各分野の専門領域を教育・研究し、その成果を学年末の3月に刊行する研究報告に発表してきた。

2001年3月には創刊号を発行、20年間継続的に毎年刊行され、本年2020年で第20巻となった。それぞれの論文題目は第19巻(2019年)の巻末に掲載されている。

この研究報告は印刷メディア系大学図書館、国立国会図書館、印刷博物館、印刷図書館などにも寄贈されているので、各館で閲覧可能である。更に、国際印刷大学校の URL (www.media-igu.com) に電子ブックとしても公開されている。

2019年に第2回目の合本(Vol.10からVol.19)が完成し(写真上部参照)、今後、2030年に向けて更に、印刷メディアの教育・研究をAIやIT・ロボットなどの理論を活用し、積み上げていく所存です。

皆様方のご支援・ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。



写真 国際印刷大学校研究報告創刊号から第19巻合本
(写真上部; 第10巻~第19巻合本)